

平成 19 年度第 2 回(通算 122 回)技術情報交換会のご案内

今回の例会では、平成 18 年度の協会賞受賞記念講演として「製品・技術賞」を受賞された東レ(株)殿より自動車用途への CFRP 適用研究の開発成果に関する講演と、会員企業 4 社から各企業で夫々独自に展開している新製品、新技術についての最新情報をご紹介します。いずれの講演も皆様の事業活動推進の上でお役に立てるものと期待しておりますので、是非お誘い合せの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日 時：平成 19 年 9 月 28 日(金) 13:00~19:00

会 場：東京大学 山上会館(2 階大会議室)

参加費：正会員・賛助会員：6,000 円、学生会員：3,000 円、非会員：8,000 円

参加費は参加申込時に『三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店(普通)1276101 口座名義：先端材料技術協会』宛に振込料自己負担にてお振込戴くか当日会場受付で現金でお支払い下さい。

参加申込：別添の申込用ファックス用紙に所要事項をご記入の上、協会事務局にお送り下さい。定員は 80 名ですのでご確認は下記の協会事務局にご連絡下さい。

Tel: 0467-24-2721, Fax: 0467-24-2735, E-mail: sampejp@fsinet.or.jp

【プログラム】

13:00~13:05 例会委員長挨拶 (株)ジーエイチクラフト代表取締役 木村 學

13:05~13:55 「RTM 成形法によるハイサイクル大型一体成形シミュレーション技術の開発」

東レ(株) 複合材料研究所 武田 一郎殿

ALSTECC program(NEDO 自動車軽量化炭素繊維強化複合材料の研究開発)において実現した 10 分サイクル RTM について、プロセスの定量的な設計を目指して取り組んだ、賦形プロセスおよび成形プロセスのシミュレーション技術について発表する。

13:55~14:25 「先端複合材技術あゆみよる 40 年」

(株)UCHIDA 代表取締役 内田 敏一殿

当社は昭和 43 年創業以来ハンドレイアップから始まり、当初は造形物やキャラクターまたは遊具といった製品が大半でしたが、原型 成形型 製造 塗装、と一貫作業の技術により 2 輪開発の複合材による成形に挑戦することが出来ました。そのステップにより妥協を許さない芸術作品を扱う技術が問われ、上質な仕上がりに徹底した追及を求め、現在では 4 輪・航空機・宇宙・鉄道・特殊開発・次世代と展開を図れる運びとなりました。上記のような歩み寄りから始まりましてこの度の新第二工場の取り組みもお話させていただきます。

14:25~15:15 「高機能硬質発泡体ロハセルのご紹介および用途展開」

Mr.Axel Zajonz, Market Segment Manager, Technical Marketing of ROHACELL
High Performance Polymers, Degussa

ロハセル(PMI/ポリメタクリレートイミド)は、高機能硬質発泡体としてサンドイッチ構造体のコア材として使用されております。超低比重でありながら、高強度、高耐熱性を有し軽量化の要求の高い様々な構造部材に対応することが出来ます。また、ロハセルは開発以来約 30 年の歴史を持ち、膨大なデータの蓄積と航空宇宙産業、鉄道車両、風力発電、医療機器、自動車産業、スポーツ産業などの業界で注目され、使用されております。今回はロハセルの持つ特性と最新の用途展開についてご説明致します。

15:15~15:30 休憩

15:30~16:15 「最近のアラミド製品、用途について」

帝人テクノプロダクツ(株) アラミド市場開発室 室長 佐々木 孔基殿
主に複合材料用途に展開しているカーボン繊維に対して、アラミド繊維は複合材料用途を一部含む多岐に亘る用途に展開しており、近年安定的に成長を継続している。ここでは、各種アラミド製品とそれらの用途について最新情報を紹介する。

16:15~17:00 「航空宇宙産業向けカーボン複合材成形部品補修用ヒーターユニットについて」

オーエムヒーター(株) 技術部長 丸山康弘殿、技術部員 伊藤聡一郎殿
ボーイング 787 に代表されますようにカーボン複合材需要が増加していく今日、当社ではカーボン複合材成形部品の補修工程において品質安定性を大きく工場させることを可能とした新しいヒーターユニットを提案させて頂きたいと考えております。補修工程において重要とされる要素としまして補修箇所の温度分布性能が挙げられますが、当社はヒーターマット単体の温度分布性能の向上に加え、更にそのヒーターマットに複数の回路を持たせることにより、より細かな温度コントロールを可能にする『真空パキューム機能付きマルチコントローラー』を使用することで長時間に亘り、均一な温度分布である状態を作り出すことに成功しました。このコントローラーにつきましては、複数コントロールだけでなく、利便性、汎用性を持たせ、また PC での操作となりますので、他のソフトへの互換性に優れている為(txt ファイル、csv ファイル等)、データ分析が容易であり、品質保証の上で十分な役割を担えると考えております。

17:20~19:00 懇親会

講師の方々と交えた参加者相互の情報交換の場としてご活用下さい。
費用は参加費に含まれております。会場は東大本郷キャンパス内の赤門
出口左側の学生会分館 2 階 8 号室です。

以上

先端材料技術協会宛(Fax:0467-24-2735)

平成 19 年 月 日

平成 19 年度第 2 回技術情報交換会に参加申込いたします。

所属先： _____

連絡先： _____

(Tel: _____, Fax: _____)

お名前： _____

領収書発行の都合上、下記の該当項目につき必ずチェックをお願いします。

- (1) 正会員・賛助会員、 学生会員、 非会員
- (2) 銀行振込、 当日現金支払い

【会場へのアクセス】

- (1) 地下鉄：丸の内線本郷三丁目 10 分、千代田線湯島 15 分、南北線東大前 12 分
- (2) 都バス：東大構内行：上野駅前浅草口より乗車、御茶ノ水駅前聖橋口より乗車
山上会館は安田講堂の南側、御殿下グラウンドと三四郎池の間にあります。

以上